

**(1) 全世界：新型コロナウイルス流行状況**

新型コロナウイルスの全世界の感染者数は11月になり減少傾向にあります（WHO Corona virus disease 2022-11-23）。国別では南アフリカ、ブラジル、フランス、インドネシア、タイ、日本などで感染者数が増加しています。流行株はオミクロン株のBA.5系統が主流で全体の7割を占めています。BA.5系統で免疫逃避が強いとされるBQ.1は2割以上に増加しており、今後、北半球の冬の到来とともに、流行が拡大する可能性があります。なお、日本の外務省は、空港での海外在留邦人向けのワクチン接種を継続しています。<https://www.anzen.mofa.go.jp/covid19/vaccine.html>

**(2) 全世界：季節性インフルエンザの流行状況**

11月になり世界各地でインフルエンザの患者数が増加しています（WHO Influenza 22-11-14）。米国では南部などで、ヨーロッパではドイツ、英国、ポルトガルなどでA（H3N2）型の患者が増えています。東アジアでは患者数の著明な増加が見られていませんが、日本では局地的な患者発生が報告されています（厚労省新型コロナ専門家会議資料 22-11-22）。今後、北半球全体で冬の流行が拡大すると予測されます。

**(3) 全世界：サル痘流行状況**

今年の5月からヨーロッパや北米、南米を中心にサル痘の世界的な流行が発生しています。11月中旬までに110か国から8万人近くの感染者が報告されていますが（死亡は53人）、今年8月ごろをピークに感染者数は減少傾向にあります（WHO 22-11-23）。感染者の大部分は男性間性交渉者（Men who have Sex with Men：MSM）で、この集団を対象にワクチン接種を推進した結果、感染者数の減少がみられているようです。

**(4) アジア：アジアでのデング熱流行状況**

今年は東南アジアでデング熱の患者数が大幅に増加しましたが、11月になり減少傾向にあります（WHO 西太平洋 22-11-17）。11月中旬までにマレーシアで5万人、フィリピンで19万人、シンガポールで3万人、ベトナムで30万人の患者が確認されており、ベトナムの患者数は今年の5倍近い数になっています。今年インド、バングラデッシュ、ネパールなど南アジアでも、デング熱患者数が例年になく増加しています（Outbreak News Today 22-10-30, 11-2）。

**(5) アジア：インドネシアでポリオ患者が発生**

インドネシアのスマトラ島北部にあるアチエで、11月初旬にポリオ患者が一人発生しました（ProMED 2022-11-20）。患者は7歳の男児で、ポリオワクチン由来の2型ウイルスが検出されました。同国では2019年にパプア州で感染者が2人確認されていますが、それ以来のポリオ患者発生になります。

**(6) ヨーロッパ：移民などにジフテリア患者が多発**

今年になりヨーロッパ各地で、中東などからの移民にジフテリア患者が多発しています（ヨーロッパ CDC 22-11-18）。11月中旬までに148人の患者が確認されており、ドイツ、英国、オーストリア、スイスでの発生数が多くなっています。ジフテリアは飛沫感染する細菌性疾患で、喉頭・咽頭の炎症や皮膚の病変をおこします。今回確認された患者の出身国は、シリアやアフガニスタンが多い模様です（ProMED 22-11-19）。

**(7) アフリカ：ウガンダでのエボラ熱の流行**

東アフリカのウガンダでは、9月から発生していたエボラ熱の流行が11月も続いています（WHO 22-11-10）。累積患者数は11月中旬までに136人となり、53人が死亡しました。患者発生は同国中央部のムベンデ県を中心に8つの県に及んでおり、首都カンパラでも17人の患者が確認されました。なお、直近の新規患者数は減少傾向にあるようです（ヨーロッパ CDC 22-11-17）。

**・日本国内での輸入感染症の発生状況（22年10月10日～11月6日）**

最近1ヶ月間の輸入感染症の発生状況について、国立感染症研究所の感染症発生動向調査を参考に作成しました。

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/idwr-dl/2022.html>

新型コロナウイルス感染症の輸入例については、厚労省発表の検疫事例発生状況を参考にしています。

[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000121431\\_00407.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000121431_00407.html)

**(1) 経口感染症：**輸入例としてはチフス2人、E型肝炎2人が発生しています。

**(2) 昆虫が媒介する感染症：**デング熱が18人発生し、前月（18人）と同数でした。感染国はベトナム（7人）、ネパール（5人）、フィリピン、バングラデッシュ（各2人）、インドネシア、インド（各1人）でした。マラリアは4人で、感染国はアフリカ（ギニア、カメルーン）が2人、ブラジル2人でした。

**(3) 新型コロナウイルス感染症：**22年10月23日～11月23日までに検疫での輸入例として113人が報告されています。感染者の滞在国で多かったのは、米国32人、フィリピン、インドネシア、オーストラリア、フランス（各7人）、タイ（5人）でした。